

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月9日

上場会社名 株式会社フジックス 上場取引所 大
 コード番号 3600 URL <http://www.fjx.co.jp>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)藤井 一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)山本 和良 (TEL)075(463)8111
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	1,555	△0.7	38	—	36	—	1	—
24年3月期第1四半期	1,565	0.8	△15	—	2	△56.2	△22	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 76百万円(529.8%) 24年3月期第1四半期 12百万円(△93.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	18	—
24年3月期第1四半期	△3 23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	9,986	8,350	79.8
24年3月期	9,952	8,359	80.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 7,972百万円 24年3月期 8,012百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0 00	—	12 50	12 50
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	0 00	—	12 50	12 50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,269	3.5	55	—	69	383.1	41	△31.9	6 05
通期	6,620	5.2	163	—	180	—	108	—	15 71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名)―、除外 一社 (社名)―
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期1Q	7,340,465株	24年3月期	7,340,465株
25年3月期1Q	448,177株	24年3月期	448,077株
25年3月期1Q	6,892,322株	24年3月期1Q	6,893,640株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 4
3. 四半期連結財務諸表	P. 5
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 7
四半期連結損益計算書	P. 7
四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 9
(4) セグメント情報等	P. 9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要などによる回復の動きも見られるものの、一方では、今夏の国内の電力供給問題や、欧州債務問題による世界経済の減速懸念と長引く円高傾向などにより、依然先行きは不透明な状況で推移しました。

当縫い糸業界では、消費者の節約志向が依然として強く、特に国内縫製の低迷により、衣料用縫い糸の国内受注は全般に厳しい状況となりました。

当社グループは、国内外市場において中長期の課題を推し進めつつあり、その成果も徐々に現れつつありますが、国内市場での苦戦が響き、当第1四半期連結累計期間の売上高は、1,555百万円（前年同期比0.7%減）となりました。

一方利益面は、売上高の減少が響いたものの、平成20年末に実施した国内工場の移転統合により増加した償却費負担も徐々に軽減されつつあることや、当社の人件費を含む経費の削減もあって、営業利益は38百万円（前年同期は15百万円の損失）となりました。

また、保有株式の時価の下落や為替変動による差損等もあり、経常利益は36百万円（前年同期は2百万円）となり、法人税等の増加もあって四半期純利益は1百万円（前年同期は22百万円の損失）となりました。

なお平成23年6月に、タイ国サハ・グループとの合併で設立した持分法適用会社であるフジックス・インターナショナルは、営業活動を開始しておりますが、業務拡大の途上にあり、先行する経費等の当社持分相当額を営業外費用の持分法適用による投資損失として計上しております。

当第1四半期連結累計期間におけるセグメントごとの業績は次の通りです。

日本

東日本大震災の復興需要も一部には見られるものの、上述の通り、先行きの不透明感が払拭されず、個人消費は全般的に慎重で、節約志向も依然として根強く、国内におけるアパレル業界は全般に低調に推移しております。これに伴って衣料品の生産は慎重で、特に国内縫製業は厳しい状況を余儀なくされております。

当社グループは、手作りホビー需要の掘り起こしやシェアの拡大など、国内事業における中長期の課題を推し進めており、それらの成果も徐々に現れつつありますが、衣料用縫い糸の受注低迷が響き、当セグメントの売上高は、1,276百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

一方利益面は、平成20年末に実施した国内工場の移転統合により増加した償却費負担も徐々に軽減されつつあることや、人件費を含む経費の削減など増益要因もありますが、売上高の回復が見られず、セグメント損失は、17百万円（前年同期は47百万円の損失）となりました。

なお、当社グループにおいては、事業年度の末日を、当社は3月末日、国内子会社は1月末日と定めており、当第1四半期連結累計期間には、当社の平成24年4月から6月まで、国内子会社は平成24年2月から4月までの業績が連結されております。

アジア

中国においては、経済発展の著しい沿海部を中心に急速な賃金上昇や雇用環境の変化により、縫製業は安価で豊富な労働力を求めて、新興アジア諸国へのシフトが進行しており、さらに日本向け衣料品の

縫製も当期に入って鈍化傾向で、中国における事業を取り巻く環境は厳しくなりつつあります。

当社グループの海外子会社は、事業年度の末日を12月末日と定めており、当第1四半期連結累計期間には、平成24年1月から3月までの業績が連結されておりますが、信頼される品質や高質なサービスを掲げた販売努力により、当第1四半期連結累計期間の売上高は、278百万円（前年同期比10.3%増）と増収を達成いたしました。

しかしながら、利益面につきましては、中国生産子会社では引き続き高い操業度が維持されているものの、人件費をはじめとした製造コストの増加等もあり、セグメント利益は、42百万円（前年同期比22.6%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて34百万円増加し、9,986百万円となりました。主な増減は、流動資産では、現金及び預金の減少149百万円、たな卸資産の増加70百万円、固定資産では、有形固定資産の増加69百万円などがありました。

負債は、前連結会計年度末に比べて43百万円増加し、1,636百万円となりました。主な増減は、買掛金の増加64百万円、賞与引当金の減少41百万円などがありました。

純資産は、前連結会計年度末に比べて9百万円減少し、8,350百万円となりました。主な増減は、その他有価証券評価差額金の減少23百万円、利益剰余金の減少84百万円、為替換算調整勘定の増加68百万円、少数株主持分の増加30百万円などがありました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期連結業績につきましては、わが国の個人消費の動向は不透明ながら、平成24年5月11日に公表いたしました平成25年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想として開示した数値に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,825,455	2,675,527
受取手形及び売掛金	1,498,350	1,564,743
たな卸資産	2,688,850	2,759,103
その他	105,197	114,602
貸倒引当金	△27,900	△28,693
流動資産合計	7,089,953	7,085,284
固定資産		
有形固定資産	1,361,272	1,430,662
無形固定資産		
その他	196,395	202,140
無形固定資産合計	196,395	202,140
投資その他の資産		
投資その他の資産	1,308,806	1,272,624
貸倒引当金	△3,821	△3,941
投資その他の資産合計	1,304,985	1,268,682
固定資産合計	2,862,652	2,901,484
資産合計	9,952,605	9,986,769
負債の部		
流動負債		
買掛金	526,448	590,467
未払法人税等	42,964	39,976
賞与引当金	69,434	27,751
移転損失引当金	12,084	12,084
その他	297,024	330,634
流動負債合計	947,955	1,000,913
固定負債		
長期借入金	52,528	55,535
退職給付引当金	75,592	78,108
役員退職慰労引当金	166,078	159,501
移転損失引当金	83,986	88,822
資産除去債務	16,929	16,936
その他	249,702	236,248
固定負債合計	644,816	635,153
負債合計	1,592,772	1,636,067

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	923,325	923,325
資本剰余金	758,014	758,014
利益剰余金	6,399,123	6,314,218
自己株式	△106,042	△106,072
株主資本合計	7,974,420	7,889,485
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	125,201	101,434
為替換算調整勘定	△87,298	△18,621
その他の包括利益累計額合計	37,903	82,812
少数株主持分	347,509	378,404
純資産合計	8,359,833	8,350,702
負債純資産合計	9,952,605	9,986,769

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	1,565,480	1,555,282
売上原価	1,114,497	1,070,887
売上総利益	450,982	484,394
販売費及び一般管理費	466,239	446,043
営業利益又は営業損失(△)	△15,256	38,350
営業外収益		
受取利息	1,121	1,427
受取配当金	8,133	7,993
受取奨励金	7,130	6,551
その他	7,950	5,206
営業外収益合計	24,335	21,178
営業外費用		
支払利息	1,015	1,016
為替差損	5,032	9,915
有価証券評価損	—	7,388
持分法による投資損失	—	3,824
その他	977	868
営業外費用合計	7,025	23,014
経常利益	2,053	36,515
特別利益		
固定資産売却益	18	—
特別利益合計	18	—
特別損失		
固定資産除却損	14	—
特別損失合計	14	—
税金等調整前四半期純利益	2,058	36,515
法人税、住民税及び事業税	17,143	10,269
法人税等調整額	△1,568	16,413
法人税等合計	15,575	26,683
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△13,517	9,832
少数株主利益	8,756	8,582
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△22,273	1,250

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△13,517	9,832
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,226	△23,767
為替換算調整勘定	34,981	88,025
持分法適用会社に対する持分相当額	—	2,648
その他の包括利益合計	25,755	66,906
四半期包括利益	12,238	76,738
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,100	46,159
少数株主に係る四半期包括利益	16,338	30,578

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,312,488	252,992	1,565,480	—	1,565,480
セグメント間の内部 売上高又は振替高	97,716	140,117	237,834	△237,834	—
計	1,410,205	393,109	1,803,314	△237,834	1,565,480
セグメント利益又は損失 (△)	△47,812	55,259	7,447	△22,704	△15,256

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△22,704千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	日本	アジア	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,276,285	278,997	1,555,282	—	1,555,282
セグメント間の内部 売上高又は振替高	96,394	124,839	221,233	△221,233	—
計	1,372,679	403,836	1,776,515	△221,233	1,555,282
セグメント利益又は損失 (△)	△17,778	42,747	24,968	13,381	38,350

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額13,381千円は、セグメント間取引消去によるものです。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間において、新たにベトナムに連結子会社を設立したことに伴い、当社グループの生産・販売体制を基礎とした地域別の報告セグメントの区分方法を見直し、従来の「日本」「中国」から「日本」「アジア」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成しており、前第1四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

該当事項はありません。